日本台湾交流協会主催の日台高校生オンライン交流会に参加しました

８月６日（金）午後、コンピュータ室で台湾の高校生とオンラインで交流会をしました。その様子をご紹介します。

今回のイベントはコロナウイルスにより、日本に留学できなくなってしまった台湾学生との交流会でした。参加者は台湾高校生２４名、日本の高校生１５名。日本人高校生のうち７名が市松の１・２年生７名でした。台湾の高校生は日本についてとてもよく勉強していて、その日本語力、日本に関する知識に驚きました。

グループディスカッションでは、日本と台湾との似ているところ、違うところの比較をしました。台湾の高校の在校時間の長さや日本の高校生がアルバイトで働いていることなど、文化の違いを感じました。

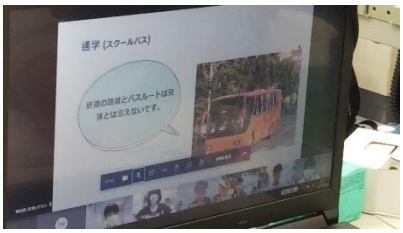
日本文化体験では事前に用意したパワーポイントを使用し、折り紙・切り絵・音楽グループの紹介をしました。録画したビデオの音が出ない、折り鶴を折り切れないなど、少々トラブルもありましたが、良好に日本文化の紹介ができました。最後は個人的にメールアドレスを交換して、引き続き連絡を取り合うことを約束しました。

本校生徒にとっても台湾の高校生にとっても貴重な体験になりました。コロナ禍でもこのような形で海外との交流を続けていきたいです。

３密を避けて交流しました

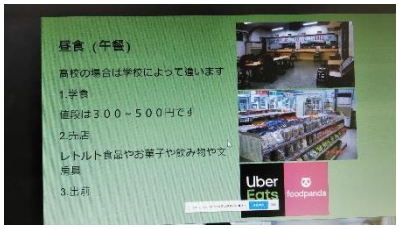
台湾との違いをまとめます

朝ごはんは学校で!?



スクールバスが主流の台湾

制服も日本とは違いました



お昼ご飯を Uber eats

日本語で流暢な発表

「クリスマスバッグ」の紹介

みんなで記念撮影！